

ニュースクリップ & 映像教材

■全国ICT教育首長サミット・ 第5回日本ICT教育アワード開催

全国ICT教育首長協議会による標記サミットが、令和4年11月17日（木）、国際ファッションセンターホール（東京都・墨田区）において開催される。内容は、第5回日本ICT教育アワード表彰式（写真）、シンポジウム、講演等。詳細は、本誌8頁を参照のこと。



写真・前回アワード表彰式の様子

協会情報

■eスクールステップアップ・キャンプ2022 つくば大会開催

（一財）日本視聴覚教育協会・日本視聴覚教具連合会主催、文部科学省、つくば市教育委員会共催による標記研修会を会場とオンラインのハイブリッドにより開催する。

<日時>令和4年11月25日（金）10:00~16:45

<会場>つくばカピオ（つくば市竹園1-10-1）

<内容>基調講演、特別講演、実践発表、パネルディスカッション、教育ICT教材・機材体験展示会等。要事前登録。詳細は、本誌表2を参照のこと。

<問い合わせ先>（一財）日本視聴覚教育協会
TEL 03-3431-2186

全国ICT教育首長協議会情報

■第4回GIGAスクール対応オンライン研修会 開催

全国ICT教育首長協議会主催により、標記研修会が開催される。

<日程>令和4年11月30日（水）15:00~17:15

<対象>自治体関係者、教育委員会関係者。

<内容>講演、首長インタビュー、GIGA実践発表、先進ICT教育機器紹介等。要事前申込。定員300名先着順。詳細は、本誌9頁を参照のこと。

<問い合わせ先>全国ICT教育首長協議会事務局
（一財）日本視聴覚教育協会内

TEL 03-3431-2186

AV情報

■国立情報学研究所「共同研究」公募

国立情報学研究所では、情報学研究の推進と他学問分野との連携による研究の開拓を進めるため、2023年度の標記研究の公募を行っている。

<応募資格>国内の大学・短期大学・高等専門学校及び大学共同利用機関等に所属する研究者並びにそれらに準ずる研究者、大学院生（社会人大学院生に限る）や民間企業等に所属する研究者。

<募集研究と助成>戦略研究公募型（年間上限150万円）、研究企画会合公募型（年間上限80万円）、自由提案公募型（年間上限100万円）。

■ ブックレビュー

ICTを活用したこれからの学び
次世代を担う教師のためのICT入門

北海道教育大学 未来の学
び協創研究センター 監修
姫野完治・川俣智路・
後藤泰宏 編者
一草書房 発行
2022年10月1日発行
A5版235頁
1,800円(税別)

第1章冒頭から「私たちが生きる現代は『VUCA（ブーカ、変動・不確実・複雑・曖昧の意の英単語頭文字）な時代』と言われる」と刺激的な文言から始まる本書は、近未来の教育シーンにおける羅針盤となり得る名著である。

本書では、第2章で学校におけるこれまでのICT活用を概観し、第3章で子どもの生活や学びとICTについて考察し、第4章では情報活用能力を計画的に育成するカリキュラム・マネジメントについて提案している。

第5章では1人1台学習環境を活用した実践事例を紹介し、第6章では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」とを一体的に充実するためには、ICT活用は必要不可欠である

点と、自分の学びを調整できる学習者を育てるUDLという枠組みについて解説している。

第7章では授業におけるICTの利活用例をさまざまな教科で紹介している。第8章ではプログラミング教育の現状と課題について述べ、第9章では遠隔教育について、通信教育や放送教育の歴史を踏まえた考察をしている。

第10章では、メディア・情報リテラシーと情報モラルについて述べ、第11章ではICTを活用して教師の力量を向上させる手立てを「データを可視化したテクノロジー」などを事例として分かりやすく解説している。

最終章では「学校の情報化を進めるカギ」として、「ハード面」「ソフト面」「人材面」の充実を挙げている。

令和3年1月の中央教育審議会答申では「令和の日本型学校教育」では、「教師には、ICTも活用しながら、個別最適な学びと協働的な学びを充実し、子供たちの資質・能力を育成することが求められる」と示された。

学習者用デジタル教科書の適切な活用方法、スマホ等個人端末の学習への応用など、さらに言及してほしい面もあるが、本書は若い教師のICT活用を確実に促す力作である。

(東京都教職員研修センター教授・
元日本学校視聴覚教育連盟会長 須藤太郎)

<申請書提出期限>令和4年12月1日(木)

<問い合わせ先>国立情報学研究所総務部企画課
社会連携推進室公募型共同研究担当

TEL 03-4212-2139

■「第61回(令和4年度)下中科学研究助成金」 助成先募集

(公財)下中記念財団では、学校教育に携わる先生等の教育のための真摯な研究の助成を行っており、その助成先を募集している。

<応募資格>全国小・中・高等学校、中等教育学校、特別支援学校、高等専門学校の教員、教育センターや教育委員会等において教育実務を行う方。
応募は、1人1件に限る。

<対象分野>○自然(算数・数学他)、○人文(国語、地歴・公民他)、○その他(教育一般、環境教育、情報教育、国際理解教育他)等。

<助成金額>総額900万円。1件あたり、30万円、30件を予定。

<締切>令和4年12月1日(木)当日20:00までに発信されたメールを有効とする。

<問い合わせ先>(公財)下中記念財団事務局
TEL 03-5315-0154

コンクール情報

■「映文連アワード2022」受賞作品決定

(公社)映像文化製作者連盟が主催する標記ア

ワードは、最優秀作品賞(グランプリ)「変わるまち、変わるまち、石巻。feat.ジュン」((株) ロボット)、文部科学大臣賞「ガラッパどんと暮らす村」(若見ありさ)等を決定した。

表彰式は、令和4年11月28日(月)13:30から、国立新美術館講堂(東京都港区六本木7-22-2)において実施予定だが、人数制限のためWebでのライブ配信も予定している。

<問い合わせ先>(公社)映像文化製作者連盟
TEL 03-3662-0236

■第14回「座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル」コンペティション部門 作品募集

座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル実行委員会では、標記部門の作品を募集している。

<応募規定>ドキュメンタリー映画、文化映画、記録映画、科学映画、教育映画、TV番組等。作品尺は問わない。制作年次が過去3年以内(2019年以降に制作)のものに限る。応募形態は、DVD。応募料は、作品1点につき2,000円。

<賞>大賞 賞金10万円

<締切>令和4年11月30日(水)当日消印有効。

<問い合わせ先>(株)ドキュメンタリー・ジャパン TEL 03-5570-3551

■「東京ビデオフェスティバル2023」作品募集

NPO法人市民がつくるTVFによる標記フェスティバルでは、映像作品を募集している。

<募集作品>20分以内の作品、ジャンル、テーマは自由。プロ・アマ・年齢・国籍は問わない。

<賞>ビデオ大賞、TVF2023アワード、TVFジャーナリズム賞、市民賞他。

<締切>令和4年11月30日(水)

<問い合わせ先>NPO法人市民がつくるTVF
TEL 070-4150-2167

学会情報

■日本教育メディア学会「第29回年次大会」

日本教育メディア学会では、2022年度の標記年次大会を開催する。

<日時>令和4年11月26日(土)13:00~17:00、27日(日)9:30~16:40

<会場>椚山女学園大学(名古屋市千種区星が丘元町17-3)

<内容>シンポジウム、課題研究プログラム等。要事前申込。令和4年11月19日(土)まで事前支払い参加費は非会員4,000円、当日支払いは非会員5,000円。非会員の現職教員は無料。

<問い合わせ先>日本教育メディア学会
MAIL jaemsconference@gmail.com

文部科学省選定作品

■8月選定 紙しばい DVD

特別選定「おつきさまと おつきみ」紙8枚<幼稚園/幼児、教養>(株)童心社

特別選定「ききみみずきん」紙12枚<幼稚園/小学校低学年/幼児・少年、教養>(株)童心社

※小学校低学年は選定。

「身近に潜む 土砂災害の危険~早めの予測 早めの避難~」DVD19分<成人、地域社会生活(災害予防・対策)>(株)映学社

■9月選定 紙しばい DVD

「まてまて あんぱん」紙12枚<幼児・少年、教養>(株)童心社

「注文に時間がかかるカフェー僕たちの挑戦一」

DVD38分<青年・成人、地域社会生活(人権)>

奥村安莉沙

「ビデオですぐわかる「情報機器作業における労働衛生管理のためのガイドライン」入門①情報機器の作業環境と適切な管理」DVD21分<成人、職業生活一般(職場生活の健康、安全)>(株)AKC

「ビデオですぐわかる「情報機器作業における労働衛生管理のためのガイドライン」入門②情報機器の作業の健康への影響と管理」DVD24分<青年・成人、職業生活一般(職場生活の健康、安全)>(株)AKC

映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/main9_a1.htm

■お詫び

本誌9月号42頁「令和4年度全国自作視聴覚教材コンクール入賞作品」の庄司祐太先生の所属は、正しくは、仙台市立上愛子小学校です。お詫びして訂正いたします。

※本欄掲載のイベント開催等の最新情報は、主催者<問い合わせ先>に、ご確認ください。